



学校だより



長崎県立ろう学校佐世保分校

第91号

平成31年3月13日

「夢に挑戦しよう」

校長

小学生のときに夢見た仕事に就けた人は、15%だそうです。中学生、高校生と上がっていくにつれ、社会と自分を知ることで、夢の形は変わっていくものです。**大事なのは、その時々でやりたい自分があり、どんな人になりたいか、どんな仕事をしたいか心にもっていて、実現の努力をしていること**です。

本校の高等部では、専攻科5名の修了者の就職先が決まりました。それぞれの望んだ企業に就職でき、申し分のない進路となりました。元から志望していた職業というより、鍛えてきたコミュニケーションや勤勉性、誠実な人間性に導かれて到着した、それぞれの出発点だと感じます。居場所を確保できる常識を身に付け、頑張れる仕事を広げてきた積み重ねがそこにはあります。そして、それを支えた周囲の支援の力がそこにはあります。

分校中学部を卒業すると、本校での専門学科の学習がスタートします。普通教科も、難易度が上がり、両方併せて、社会で通用する学力と社会性、責任感と勤勉性を高めていきます。

ここからは、モデルと俳優として活躍している栗原類さんと母親の泉さんのお話。

8歳の時、類さんが発達障害と診断され、泉さんは、子供にとって何がプラスになるかを最優先にしました。類さんのキャリアを考えてモデルの仕事に優先し、見聞を広めてあげたいと20カ国以上の旅行をしました。

ぶれない子育ては、「社会常識やマナーを具体的に根気強く繰り返し伝える」と「“向き”“不向き”ではなく“何なら頑張れそうか”を見付ける」という方針に貫かれています。

類さんは、「発達障害については、どんなに努力しても100%克服できるものではないと捉えています。とはいえ、発達障害だから大目に見てもらおうというわけではなく、生活面や仕事面では、苦手なことであっても最低限はできるようになったほうがいい。母には感謝しています。

20年以上、諦めずに僕を育ててくれてありがとう」と言います。

“何なら頑張れそうか”を見つけた類さんは、今幸せだと言います。**これから、中学部卒業生にとっては、挑戦しがいのある自分探しの期間が始まります。**しかし、思案するばかりでは、何も実現できません。バランス良く積み上げていく努力も、類さんのように一点突破を目指して深い研ぎ澄ます努力もありますが、どちらにしても、**諦めない努力の習慣が、夢を実現させます。**

卒業生諸君よ、頑張り抜いてほしい。君たちの前途に、幸多きことを願っています。

卒業・修了 おめでとう

幼稚部 Aくん

まいにちげんきににたのしくすごすことができました。せんせいがた、おともだちのみんな、ありがとう。しょうがくぶでもげんきにがんばります。



Aくん、幼稚部修了、おめでとうございます。

にこにこ笑顔がとても素敵なAくん。歌が大好きで、覚えた歌を披露して、周りの人も笑顔にしてくれましたね。入学してからの一年間で、理解できる言葉が増え、自分の気持ちを伝えられる場面も増えてきました。また、給食で、好き嫌いをあまりせずに食べたり、階段の昇降が一人でできるようになったりと、たくさん成長した姿を見せてくれました。小学部へ入学しても、Aくんらしく、笑顔いっぱい、勉強や運動を頑張ってください。応援しています。

幼稚部 きいろ組担任

中学部

Bさん

私の7年のろう学校佐世保分校での学校生活が、今、終わろうとしています。復習をしていなかったり、忘れ物をしたりして叱られたことが、まるで、昨日のように感じます。苦い思い出ですが、復習をするようになり、忘れ物も減ってきました。中学部の1番の思い出は、「修学旅行」です。初めて広島に行きました。テレビに宮島が出ると、「ここに行ったよ」など、たくさん家族に自慢しています。もし、合格したら、ろう学校高等部へ行きます。これからも、勉強や部活動を頑張ります。

Cさん

6年の思い出がいっぱい詰まったろう学校佐世保分校を、私は卒業します。

私の思い出は、みんなと遊んだうきうきタイムです。共に笑い合っ、とても楽しかったです。また、幼稚部、小学部の皆さんが、楽しそうに遊んでいるのを見て、私もうれしかったです。皆さんのことを忘れません。またいつか、会えるといいですね。これからも、勉強や運動を頑張ってください。先生方、時には厳しく、時には優しく、丁寧に教えてくださいました。ありがとうございました。ろう学校佐世保分校の皆さん、さようなら。

Dさん

10年間過ごしたろう学校佐世保分校を、私は卒業します。今思えば、あっという間に過ぎました。私には、素敵な思い出がたくさんあります。その中で、一番心に残っている思い出は、『学習発表会』です。発表会前日まで、精一杯練習して、当日には、たくさんの拍手をもらえてうれしかったです。

最後に、皆さんと別れるのは辛いですが、また、いつか会いましょう。本当にありがとうございました。

Eくん

僕は幼稚部から十二年間ろう学校に通いました。中学1年生の思い出は、宿泊学習です。みんなで沢登りをしたり、おいしいカレーを作ったりして、楽しかったです。中学2年生の思い出は、修学旅行です。マツダで自動車を見たり、宮島に行ったりしました。鹿と遊んで楽しかったです。中学校3年生の思い出は、学習発表会です。4人で協力して、きれいなマリーゴールドを完成させました。たくさん思い出ができました。先生方、今まで僕にいろいろ教えていただきありがとうございました。

卒業おめでとうございます。職場体験や運動会、学習発表会、部活動など、これまでの学校生活を通して、皆さんは大きく成長しました。また、言い過ぎて友達とけんかをして、自分から謝って仲直りをしたり、悲しいことがあると励まし合ったりと、友達の気持ちを考えて行動できるようになりました。これからも、友達を大切にしてください。

皆さんには、たくさん可能性があります。努力を惜しまず、自分の目標に向かって、一歩ずつ進んで行ってください。応援しています。

中学3年1組担任

Eくん 卒業おめでとうございます。Eくんが、中学部2, 3年の2年間担任をさせていただきました。Eくんにとってすごく成長した時期と一緒にいられて、私はとてもうれしく思います。朝の運動や部活動で一生懸命走る姿や時間を気にして行動する姿はとても素晴らしかったです。これからもまだまだ心も体も成長していくと思います。何事にも一生懸命取り組んでほしいと思います。

中学3年2組担任

「学校評価アンケートの結果から」

部主事

学校評価アンケートは、保護者と小学部5年生以上の児童生徒（今年度は中学部生徒）が年1回、学校職員が年2回行っています。

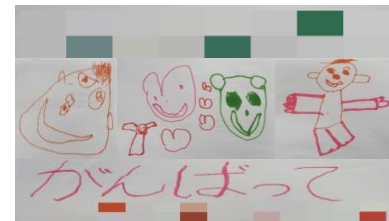
保護者の評価は、全般的に高い評価になっており、保護者の皆様に協力していただきながら、日頃より良好な関係を積み重ねてきた結果だと思えます。しかし、昨年度と同様「学校は福祉、医療、進路等に関する情報を提供してくれる」という項目の評価が低かったため、保護者の皆様の不安感や疑問などを具体的に聞き取り、一人一人に丁寧にお応えしていきたいと思えます。

生徒の評価は、全ての項目で高い評価でしたが、「先生は、私の良いところをほめてくれる」と「学校の宿題や課題に、家でも取り組んでいる」の項目で、若干低い評価の生徒がいました。より一層、子供たちの気持ちに寄り添った指導や意欲を高める学習の工夫等を行っていききたいと思えます。

学校職員の評価は、ほとんどの項目の取組で、「達成している」の評価でしたが、「聴覚障害教育に関する職員の専門性」や「関係機関との個別の教育支援計画の活用」に課題も挙げられていました。また、保護者のアンケート同様に「キャリア教育や進路に関する取組」に課題として挙げられていました。職員の専門性向上のための研究・研修に継続的に取り組んでいくとともに、地域社会や関係機関と連携を図りながら、子供たちや保護者の皆様に満足していただける学校作りを引き続き進めていきたいと思えます。

学校アンケートの詳細は、学校HPを御覧ください。

在校生より



ようちぶ あかぐみ

わたしは、中学部のみんなに遊びにさそってもらい、うきうきタイムで、おにごっこをしたのが楽しかったです。A君とはときどき手をつないで、かわいかったです。みんながいなくなるとさびしくなるので、また学校に会いに来てほしいです。

小学部3年

そつぎょうおめでとうございます。うきうきタイムでは、「しっぽとり」や、「だるまさんがころんだ」など、いっしょにたくさんあそんで楽しかったです。4月から、べん強やうんどうをがんばってください。

小学部2年

Bさん、Cさん、Dさん、Eくん、そつぎょうおめでとう。いつも、こえをかけてくれて、うれしかったです。Aくん、ようちぶそつぎょう、おめでとう。4がつから、しょうがくぶです。よろしくね。

小学部2年

「育友会の活動について」

教頭

保護者の皆様の御協力のおかげで、平成30年度の育友会の活動を無事に終えることができました。御協力ありがとうございました。

平成30年度は、以下のような活動（抜粋）を行いました。

5月	1日（火）	育友会総会
	2日（水）	本校新校舎見学、アドバンスセミナー参加
7月	4日（水）	「長崎っ子の心を見つめる教育週間」 ・授業参観、給食試食会、校内清掃
9月	21日（金）	授業参観、給食試食会、親子&職員レクリエーション
10月	15日（月）	訪問研修
2月	9日（土）	卒業を祝うボウリング大会

10月15日（月）に行った訪問研修での講話について、少しだけ紹介します。

訪問研修の内容は、大村の本校の授業や寄宿舎の見学と、卒業後の進路についての講話でした。講話では、「幼稚部、小学部、中学部の段階で身に付けてほしいこと」をお話ししていただきました。

幼稚部、小学部の段階では、とにかくいろいろな経験、体験をさせ、自分で「何だろう?」「どうして?」と考えさせることが大事!そうすることが、考える力につながる!ということ。そして、中学部の段階では、将来なりたい自分を見据え、どこに進みたいのか、それに向けてやらなければならないことは何かを考えさせることが大事!目的をもって進学して来てほしい!ということが、お話の中心でした。将来につながるそれぞれの段階において、家庭と学校がスクラムを組んで、必要な力を身に付けさせていかなければいけないと感じました。

本校進路指導担当のF先生、熱心にお話しいただいたり、質問に丁寧に答えていただいたり、本当にありがとうございました。

さて、平成31年度から分教室となります。育友会については、名称の変更等を次年度早々に提案したいと考えています。しかし、活動については、これまで同様のペースで、佐世保分校（分教室）らしく、和気あいあい、楽しい活動を企画していきたいと考えていますので、これまで同様、御協力よろしくお願ひします。